



# R 京都両洋高校の特徴 *Ryoyo quality*

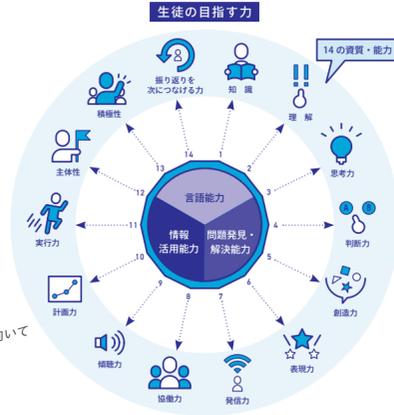
## 「生徒の目指す力」(育成を目指す資質・能力)

本校では、「社会に出て役立つ青年として育て、次のステージに送り出す」という教育目標を具現化するため、知力・気力・体力・道徳力・コミュニケーション力の5つの力の向上を目指しています。

それらの力を本校における教育活動を通じて身につけるため、教員・生徒がより具体的な行動に落とし込めるよう、右図に示した14の「生徒の目指す力」(育成を目指す資質・能力)を設定しています。

行事、学習、進路指導、生活指導、課外活動など、本校における教育活動の全てを「14の資質・能力をいつ、どのように、どの行事・プログラムで育成するのか」という視点で再構築するとともに、生徒の成長を視覚化するためのアセスメントを全コースで実施しています。

**新たな人間中心の社会へ**  
Society5.0の時代に人間として前を向いて力強く生き抜く素地を育む



## 人間教育

### 「7つの習慣」

大切なことは、自分の可能性を信じること。人間教育の中心的プログラムとして取り組み、より良い生き方ができるようにサポートしています。



### エナジード

多様な価値観に触れ、その上で目的意識を持って選択し行動する。自分で考えを組み立て、納得できる答えにたどり着く力を鍛えることで、生き方や進路を考え抜くキャリア教育プログラムです。



## クラブ活動

### 体育系・文化系の多彩な活動

本校では、多くのクラブがそれぞれの目標を掲げ、活発に活動しています。勉強だけでなくクラブ活動に積極的に参加することで、逞しさと優しさを備えた人間を育成することを目指します。

### 勉強との両立もしっかりサポート

学習部を支えるプログラムの充実のほか、担任・進路指導部・クラブ顧問が生徒の進路希望と学習状況を密に情報共有。クラブ活動に全力で取り組みながら自分の進路を切り拓きます。



## 新しい学びの探究

京都両洋高校では、2021年度よりiPadを新入生全員に導入し、生徒一人ひとりに最先端の教育を実践します。

現代社会において、ICT(情報通信技術)の最低限の知識と技術を身につけることは必須となりました。iPadを使った授業を通して、主体的・協働的・探求的な学びを追究し、学びの形を進化させていきます。



## 多種多様な部活でキラリ! *Club activities*

一生懸命に取り組む、仲間と協力する……様々な行事を通して楽しい学校生活を。

### 吹奏楽部



### サッカー部



### 男子硬式野球部



### 女子バレーボール部



### バドミントン部



### 陸上競技部



### 女子硬式野球部



### 女子バスケットボール部



### 硬式テニス部



### アメリカンフットボール部



### 男子バスケットボール部



### 水泳部



### チアリーディング部



### 柔道部



### ハンドボール部



### 空手道部



### ダンス部



### 弓道部



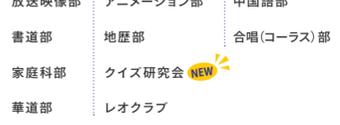
### 女子相撲部



### 写真部



### ITS部



### 文化系クラブ

- 放送映像部
- アニメーション部
- 中国語部
- 書道部
- 地歴部
- 合唱(コーラス)部
- 家庭科部
- クイズ研究会
- 華道部
- レオクラブ

## 充実した施設でキラリ! *Facility*

授業もクラブ活動も心ゆくまで取り組めるよう、最新・充実の施設・設備が揃っています。



### 全天候型人工芝グラウンド



### 静原グラウンド(女子硬式野球部専用グラウンド)



## 修学旅行でキラリ! *School excursions*

異文化や異なる言語に直にふれる修学旅行。本校ではクラブ別に本校への修学旅行を行っています。



**マンツーマンの語学研修と多彩なアクティビティ。理想的な環境でたっぷりと海外研修!**

K特進コースと進学コース英語留学系のセブ島修学旅行は語学研修と海外体験の二つを軸としています。マンツーマンの英会話レッスンを2週間集中的に受講し、英語4技能の向上を図ります。経験豊富な講師による充実したレッスンによって、各生徒に適したペースの学習に取り組める理想的な環境です。週末にはボランティア活動、マリンアクティビティ、現地の子もたちとの交流など、豊かな国際教養を身につけることを目指す研修も予定しています。事前にオンライン英会話を半年受講することで、現地での学習へスムーズに移行できるようにしています。他にもセブ島研修には、欧米と比べて留学費用が安いこと、英語を話す人口が多いこと、フレンドリーな国民性から生まれるホスピタリティなど、多くの利点があります。次年度入学生からはこのプログラム対象に進学コース進学系・日本語学習系とキャリアコースにも広げ、選択制として希望者には2年生のオーストラリア修学旅行ではなく、同時期にセブ修学旅行に変更することも可能になります。



**Danke schön!「ありがとうございます!」**  
サッカー部員たちの元気な声が響きます。

2018年3月15日、サッカー部はドイツへ海外遠征を行いました。修学旅行と海外遠征の2つの側面を併せ持つ今回の行程ではまず、ドイツの歴史に触れることから始めました。実際にさまざまな施設を巡ることは教科書や映像で学習するよりも大きなインパクトがあります。そしてフアンズリーグではフランクフルトvsマンツの試合を観戦。宿泊はスポーツ合宿施設「スポーツシュール」です。代表チームも合宿を行う環境で思う存分サッカーに集中することができます。スポーツに打ち込むには最高の環境でした。地元のコースタームとの文化交流前後には相手チームと交流。国、環境、言語が違っていてもボール一つで交流し、通じ合えるサッカーの持つ偉大な力、素晴らしいさを感じた誰もが感じた時間でした。ヨーロッパの文化、芸術、歴史に触れ、瞬間に過ぎた7日間。「百聞は一見に如かず」この興奮は言葉、写真では伝えられません。皆さんと一緒に体験してみませんか?

